

2021年10月2日

2022年度
城西大学大学院経営学研究科
第一次入学試験問題
小論文及び基礎学力検査（90分）

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題を開かないでください。
2. 問題冊子は本紙を含めて6枚、解答用紙は3枚です。ページの脱落等に気づいた場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
問題・解答用紙の汚れ等に気づいた場合にも、同様に知らせてください。
3. 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
4. 監督者の指示にしたがって、解答用紙の1枚目に受験番号・氏名を記入してください。
5. 解答にあたっては、電卓や携帯電話などの電子機器は使用しないでください。
6. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

2021 経営学研究科

問題 I 次の文章のカッコ内に最も適当と思われるものを、下の枠内の用語から 1 つ選んで、その番号を解答欄に記入しなさい。(20点)

- (A) とは、環境、社会、企業統治を判断材料として投資することである。
- (B) とは、海外から日本を訪れる外国人観光客によって生み出される国内消費のことである。
- (C) とは、「持続可能な開発目標」のことである。
- (D) とは、紙幣・硬貨といった現金を使わずにお金の支払い、受け取りを行うことである。
- (E) とは、使われていない物や場所、お金などの資産やサービスを多くの人と共有したり交換したりして有効利用する経済行動である。
- (F) とは、民間銀行が信用力の高い企業に融資をする際に適用する最優遇金利である。
- (G) とは、法人税や所得税などの税率が極めて低い国・地域のすることである。
- (H) とは、自国産業の保護や貿易収支の改善を優先し、自由貿易に反対する考え方・姿勢のことである。
- (I) とは、狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続く、新たな社会である。
- (J) とは、Google、Apple、Facebook、Amazon の米国巨大 IT 企業のすることである。

用語				
1. プライムレート	2. IoT	3. タックスヘイブン	4. CSR	5. GAFA
6. EU	7. キャッシュレス決済	8. ASEAN	9. AI	10. 保護主義
11. パリ協定	12. NATO	13. 規制改革	14. ESG 投資	15. WTO
16. シェアリングエコノミー	17. 営業利益	18. IMF	19. 仮想通貨	20. 環境税
21. コンプライアンス	22. キャッシュフロー	23. 損益計算書		
24. 官民ファンド	25. マイナス金利	26. ソサエティ 5.0		
27. インバウンド消費	28. HV	29. EPA	30. SDGs	

問題Ⅱ 次の英文を読んで設問に答えなさい。

(30点)

著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

著作権の都合により掲載しておりません。
ご不便をおかけしますことお詫び申し上げます。

(出典： ‘PayPay surges ahead in digital payments race,’ *The Japan Times*, No. 43,411, June 12-13, 2021, p. 3.より一部抜粋)

(注)

clamor to : ~するように強く要求する

deep-pocketed : 資金が潤沢にある

a shoe-leather sales force : 卓越した営業力、優れた営業担当者

grapple with : ~に取り組む

the COVID-19 pandemic : 新型コロナウイルス感染症拡大問題、コロナ禍

app : アプリケーション

tap-to-pay system : タップツーペイシステム、タップ決済システム、コンタクトレス決済システム

detractor 批判者, 中傷者

fiddly : 面倒な、厄介な

設問 1 下線部(1)について、店のオーナーはなぜ PayPay の導入を断れないのか、その理由を日本語で述べなさい。

設問 2 下線部(2)を、日本語に訳しなさい。

設問 3 下線部(3)について、PayPay はどのような背景から設立されたのか、その理由を日本語で述べなさい。

設問 4 下線部(4)について、PayPay が多くの利用者を獲得できた理由を日本語で述べなさい。

設問 5 下線部(5)を、日本語に訳しなさい。

問題Ⅲ

あなたの希望する研究テーマについて、具体的な事例などと関連付けて、300 字程度で論じなさい。 (50点)